

当協会のロゴ説明



■サンダーソニア■

＊花言葉＊

「愛嬌」「祈り」「共感」「望郷」「祝福」「福音」「純粋な愛」

この花の名前は発見者のサンダーソンに因んで付けられ、別名はクリスマスベルや、チャイニーズランタンとも呼ばれています。またラテン語の「Salveo=健康です。元気です。」といった意味が有り、原産地の南アフリカでは絶滅危惧種に数えられています。当協会では足からの健康の重要性をこの花言葉に因んで皆様に伝えていきたいと思えます。また見た目の姿の美しさや絶滅危惧種であるという事も我々の健康への警笛として最も相応しいシンボルマークと致しました。

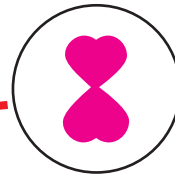


■ほうれん草■

＊花言葉＊

「活力」「健康」

東洋種のほうれん草は葉に深い切れ込みが有り、先端は尖っていて美しい姿をしています。成長するにつれその特徴が顕著になります。また雌株と雄株が有りそれぞれに花を咲かせます。食品としては「総合栄養野菜」と評されるようにビタミンやミネラル、食物繊維などの栄養素を豊富に含んでいる健康のシンボルとも言える葉野菜です。



■2つのハート■

ハートをモチーフしたのは心を込めてこの活動を推進していきたいという気持ちの現われです。



■足■

足からの健康を提唱する為に最も重要な意味を持つシンボルです。